

乳がんドックご案内



健康医学センターにて受付

毎週木曜日

13:30~15:30

女性スタッフで
お待ちしております



「乳がん検診」は
あなたを守る習慣です

近年、日本人女性が最もかかりやすい“がん”は乳がんです。

“9人に1人”の女性がかかる
といわれています (2020年現在)

乳がんは早期で発見すれば約90%以上は治る病気です。
しかし、早期の乳がんには自覚症状がなく、画像診断
でないと発見出来ません。

乳がんは早期発見が大切。定期的に検査を受けましょう。



あなたの乳房構成もお知らせします

乳がん検診に併せて、乳房構成も報告させていただきます。
ただし、乳房構成はマンモグラフィ撮影を行うと
わかるもので、超音波検査だけではわかりません。
B・Cコース受検の方のみになります。



検査の説明が裏にございます





乳がんドック検査案内

超音波検査	マンモグラフィ	トモシンセシス (3Dマンモグラフィ)
数ミリのしこりを見つけ、その形だけでなく、内部の構造まで確認できます。痛みもなくX線を使いません。	手で触ることのできない石灰化(乳がんの初期サインである砂粒のように小さい白い点)を写し出すのが得意	撮影角度を変えて複数撮影したデータを3次的に再構成することにより乳腺の重なりを排除でき、より精度の高い診断が可能になります。

年齢別
おすすめ度

30歳 40歳 50歳 60歳 70歳 80歳 90歳

超音波検査



マンモグラフィ



コースとご案内

	乳房超音波検査	マンモグラフィ	トモシンセシス	金額(税込)
Aコース	○			4,400円
Bコース	○	○		15,400円
Cコース	○	○	○	19,800円



お問い合わせ

横浜栄共済病院

健康医学センター

☎ 045-891-2171(代) 内線501 受付時間 14時~16時

乳がんドック検査案内

より詳しい
説明です

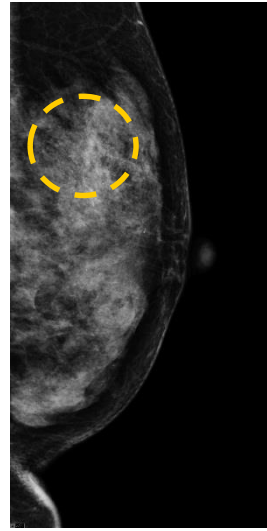


マンモグラフィは石灰化の発見が得意・高濃度乳房が苦手

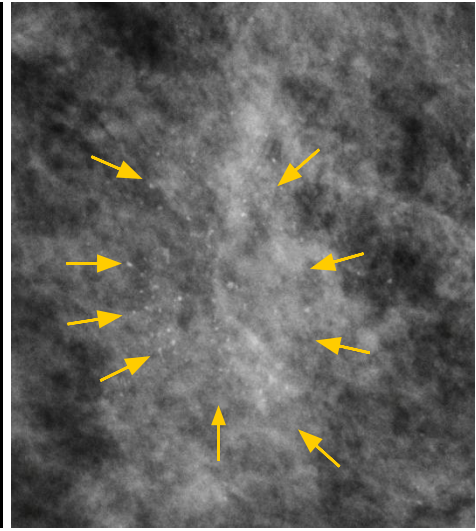
マンモグラフィによる乳がん検診は現時点で乳がんの死亡率を減らす効果があると世界で示されている唯一の方法です。

マンモグラフィは手で触ることのできない石灰化(乳がんの初期サインである砂粒のように小さい白い点)を写し出すのが得意です。(図1)

一方で、乳腺の割合が高い「高濃度乳房」を持つ女性は乳がんの検出率が低いことが知られています。



マンモグラフィ(石灰化)

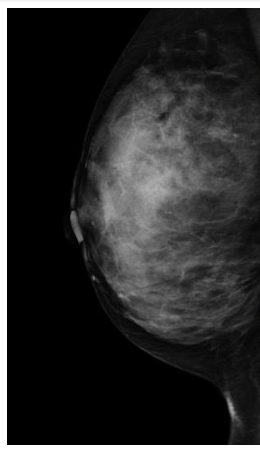


石灰化の拡大図

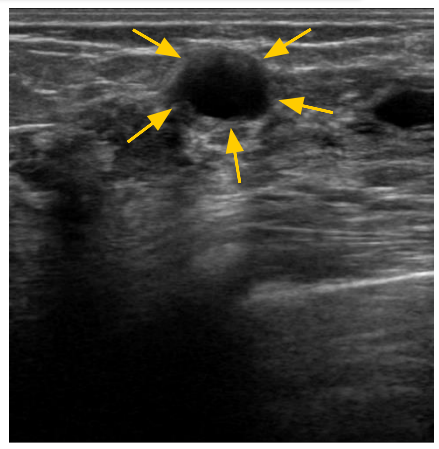
高濃度乳房には超音波検査やトモシンセシスが有効

超音波検査

数ミリのしこりを見つけ、その形だけでなく、内部の構造まで確認できます。痛みもなく、X線も使用しません。右の2つの図は同じ患者さんの画像です。マンモグラフィでは異常が見られませんが、超音波検査では病変が検出されました。



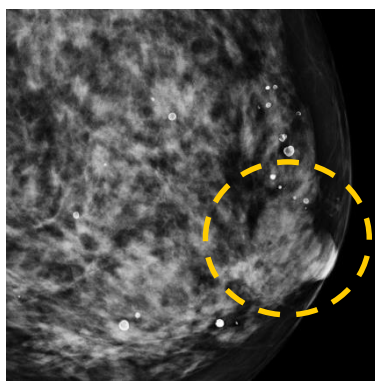
マンモグラフィ



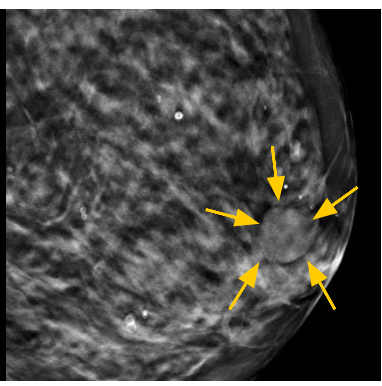
超音波検査

トモシンセシス(3Dマンモグラフィ)

今までのマンモグラフィと異なり3Dで撮影出来るため、従来では発見しづらい小さな病変の検出・診断の性能が上がるのが期待されます。右の2つの図は同じ患者さんの画像です。従来のマンモグラフィでは異常を認めませんでしたが、3D撮影では通常発見しづらい乳頭近くに病変が検出されました。



従来のマンモグラフィ



トモシンセシス

お問合せ 横浜栄共済病院 健康医学センター

☎ 045-891-2171(代) 内線501
受付時間 14時~16時